キャンベル 210

取扱い説明書

○この度は、ルイスポールセンの照明器具をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。ご使用の前にこの取扱説明書をよくご覧のうえ、正しくご使用ください。

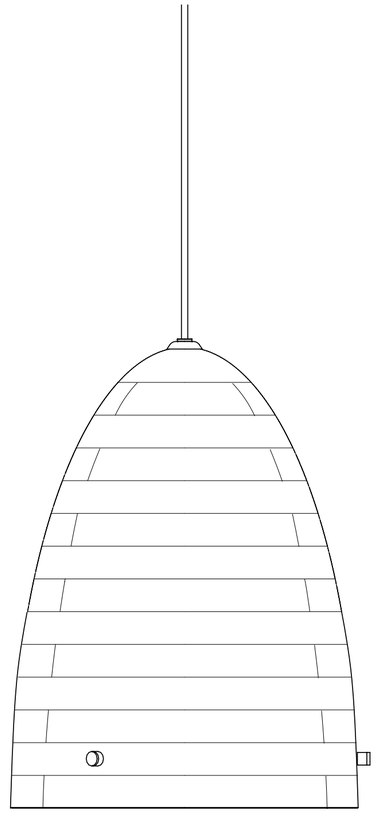
○電源の工事は専門の電気工事店におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

○万一破損したり、異常を感じた場合は、速やかに電源を切りお買い求めの販売店にご相談ください。

○電気工事店の方へ：
取付け工事が済みましたら、この説明書を必ずお客様にお渡しください。

○お客様へ：
この説明書は必ず保管してください。

○本品の規格及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございますが、ご了承ください。



ガラス製のセードについて

上質でここちよい光を得るために、これらのセードは職人の手作りによる吹きガラスです。ガラスの厚みや質量は個々に異なり、多少傾きが生じることがあります。また、ガラスに気泡が入っている場合もあります。

デザイン：ルイーズ・キャンベル　　07／06

louis poulsen

ルイスポールセンジャパン株式会社

照明器具使用についての安全上のご注意

⚠ 警　告

火災のおそれがあります
- 器具を布・紙等でおおったり、カーテン・揮発物等の燃えやすい物に近づけないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている適合ランプ以外は、使用しないでください。
- 器具及び取扱説明書に表示されている電源電圧以外で使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります
- 器具及び部品の改造をしないでください。
- 器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。

感電・火災のおそれがあります
- 異常時（煙が出たり、変な臭いがする等）には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談下さい。

感電のおそれがあります
- ランプの交換や器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

⚠ 注　意

- この器具は屋内専用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。**感電・火災の原因**となります。
- 器具の近くに温度の高くなるストーブや発熱体を置かないようにしてください。**器具の変形や火災の原因**となることがあります。
- 点灯中及び消灯直後のランプ及びその周辺にさわらないでください。**やけどの原因**となることがあります。
- 器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具落下の原因**となることがあります。
- グローブ、シェード及びランプの着脱は両手で静かに扱い、取付けは取扱説明書にしたがって確実に行ってください。取付けが不完全な場合、**落下によるけが・物損の原因**となることがあります。
- 器具は**定期的に（６ケ月程度）保守点検**をしてください。ネジや部品のゆるみ、損傷、着脱がないかお調べください。不具合があった場合はそのまま使用しないで、販売店に修理の依頼をしてください。

お　願　い

- ぬれた手で器具にさわらないでください、感電の原因となることがあります。
- ガラス・陶磁器類はこわれやすい材料です。お取扱いの際には両手で静かに行ってください。
- 器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー、ベンジン等の揮発物でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

ペンダント

louis poulsen

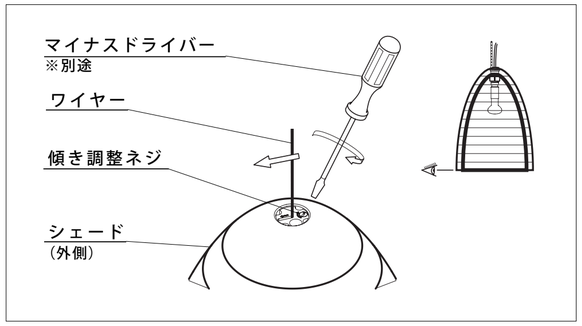
ルイスポールセンジャパン株式会社
〒106-0032　東京都港区六本木 5-17-1　アクシスビル３F
TEL　03-3586-5341　　FAX　03-3586-0478

※ 取付方法等、技術的内容に関してのお問い合わせ先
TEL　048-969-5288
平日 10:00～12:00 13:00～18:00
（土・日・祝日休み）

HEAD OFFICE：
DENMARK
Louis Poulsen Lighting A/S
FINLAND
Louis Poulsen OY
FRANCE
Louis Poulsen & Cie S.A.R.L.
GERMANY
Louis Poulsen & Co.GmbH
NETHERLAND
Louis Poulsen B.V.
NORWAY
Louis Poulsen Lighting A/S
SWEDEN
Louis Poulsen Lighting AB
SWITZERLAND
Louis Poulsen AG
UK
Louis Poulsen UK Ltd.
USA
Poulsen Lighting Inc.

取 付 順 序

② シェード(外側)の上部にある傾き調整ネジを回して修正してください。
マイナスドライバー(別途)を使い、時計周りに回すとワイヤー位置が外に移動し、逆に回すと中心に移動します。



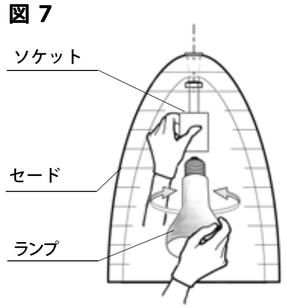
13
ソケットを片手で押さえ、ランプをねじ込んでください。　(図７参照)

※必ずソケットを押さえてからランプをねじ込んでください。ランプの取り付けが確実でないと不点、落下の原因となります。

⚠ **警告　器具及び取扱説明書に表示されている適合ランプ以外は、使用しないでください。**
火災の原因となることがあります。

⚠ **注意　ランプの取り付け、交換は消灯後３０分以内に行なわないでください。**
やけどのおそれがあります。

図 7



お手入れの方法

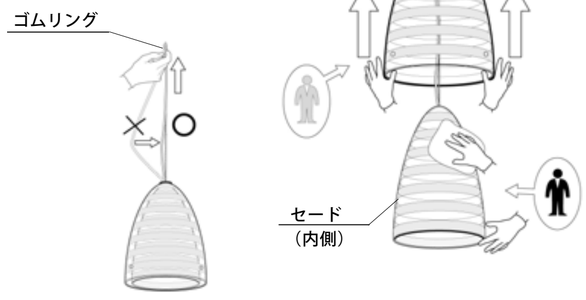
外側のセードを押し上げて清掃することができます。
- この作業は１人では困難ですので、２人で行なってください。
また、同梱の手袋をつけて行ってください。指紋等による汚れがつきます。

1
ゴムリングを押し上げてから、ひとりが外側のセードを持ち上げてください。

※ ゴムリングはひとつひとつ手で押し上げてください。
※ コードを引っ張らないでください。

2
もうひとりの方が清掃をしてください。

※よくしぼったぞうきんを使い、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

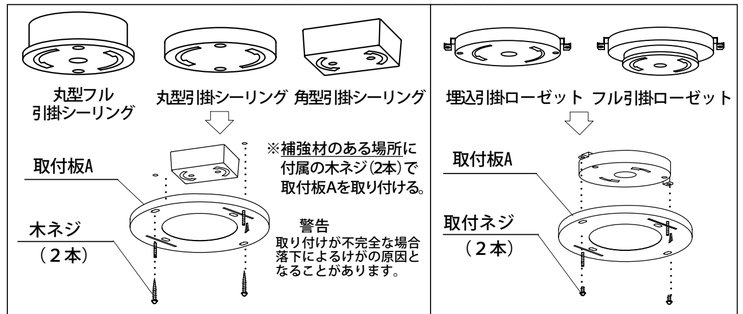


定格・仕様

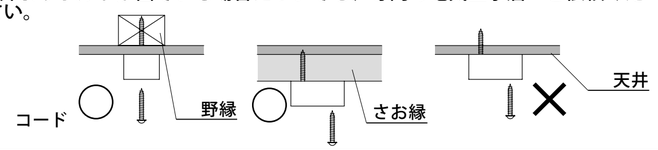
電 源 電 圧 ： 交流 100V
適合ランプ ： E17ミニレフランプ
(屋内用、ビーム角40°)
45W×1
ソ ケ ッ ト ： E17
寸　　法 ： 幅　φ210mm
高　284mm
全長　1750mm
質　　量 ： 3.5kg
材質・仕上 ：
シェード
… 吹きガラス
(ストライプ部分はサンドブラスト加工)

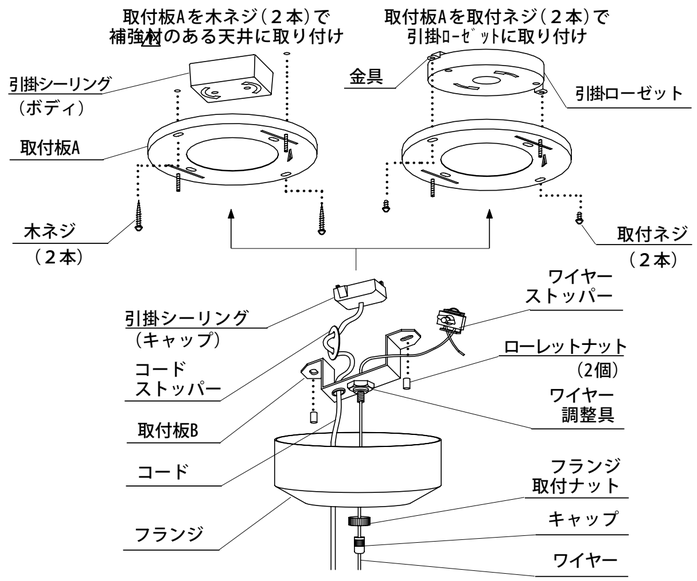
※天井面に下図の配線器具が付いていることを確認して、取り付けの準備をしてください。
※安全のため、電源を切ってから行ってください。
⚠ 警告　配線器具が十分な強度で取り付けられていることを確認してください。
落下によるケガのおそれがあります。
(配線器具ががたつく場合は、配線器具を交換してください。)
※下記以外の場合は、配線器具の交換が必要です。

取り付けできる配線器具



- 上記の配線器具が付いていない場合や配線器具を交換する場合は、専門の電気工事店へご依頼してください。
配線器具の取付け電気工事の際は十分な長さの取付ネジ２本で天井の補強材のある位置に取り付けてください。
- 天井よりボルトが出ている場合についても、専門の電気工事店へご依頼ください。





付属品

取付板Ａ　×１ ……
木ネジ　×４ ……
取付ネジ　×２ ……
ローレットナット　×２ ……
スペーサー　×３ ……
ランプ
(E17ミニレフランプ屋内用、ビーム角60°)45W×１ …
手袋　×１ ……

取 付 順 序

図 1

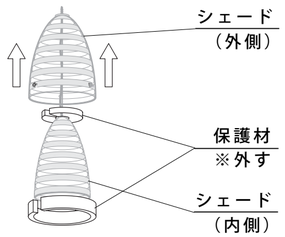


図 2

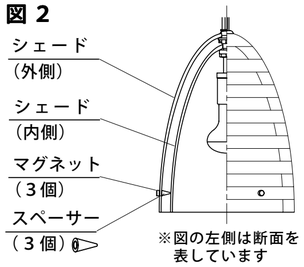
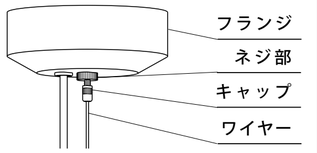


図 3

ワイヤー調節具の使い方

ワイヤー調節具によりワンタッチで器具高さの調節ができます。

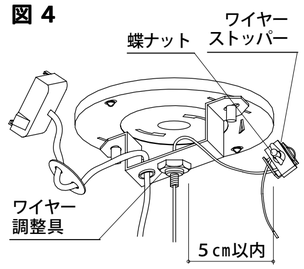


①キャップをゆるめる。
②高さを上げる場合
ワイヤーを上方向へ押し上げ器具高さを決めてください。
（離せばワイヤーは固定されます）

高さを下げる場合
ねじ部を押し上げるとロックがはずれますので下方向へワイヤーを引き下げ器具高さを決めてください。

③キャップをしめつける。

図 4



器具の高さを調節した場合

ワイヤーストッパーの位置を調節してください。ワイヤーストッパーの蝶ナットを緩めワイヤー調整具から、５cm以内のところに移動させて、確実に止めてください。

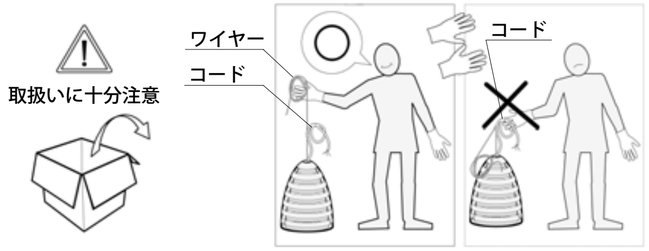
- **本器具を取り付ける前に部品の不足やキズ、破損がないことを確認のうえお取り付けください。**

⚠ **警告** 工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。
⚠ **警告** ランプを取り付ける際には、必ず電源を切ってください。
⚠ **警告** 電源電線の接続は取扱説明書にしたがい正しく接続してください。接続に不備があると、接続不良による発熱、火災の原因となります。
⚠ **警告** 器具の取り付けは取扱説明書にしたがい正しく取り付けてください。取り付けに不備があると、器具の落下、感電、ケガの原因となります。
⚠ **警告** 器具の取り付けは、取付部の強度を確認し、質量・風圧力に耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、補強工事をしてから取り付けてください。
⚠ **警告** アース工事は、電気設備技術基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。
⚠ **注意** 取り付けた器具を無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具落下によるけがの原因となります。
⚠ **注意** シェード、ランプの着脱は、両手で静かに扱い、取り付けは、確実に行ってください。落下によるケガの原因となります。

※ 本器具取付作業の前に

- この作業は同梱の手袋をつけて行ってください。
- 器具を箱から取り出す際は、必ずワイヤーを持って引き出してください。

⚠ **注意** **コードは持たないでください。**
シェードの落下・破損、またはコードの断損となります。



- シェードについている２つの保護材を外してください。（図１参照）

⚠**警告** **保護材は器具につけたままにせず、必ず外してください。**
外さずに使用すると火災の原因になることがあります。

1
スペーサー（３個）をシェードの外側と内側の間に取り付けてください。（図２参照）
このスペーサーは、内側と外側のセード同士が当らないようにするためのものです。
マグネットで固定されますが、もし外れたときは適切な位置に戻してください。

2
キャップとフランジ取付ナットをはずし、フランジを取付板Ｂからはずしてください。

3
取付板Ａを取り付けてください。（２ページ中央の図参照）

- 天井に丸型フル/丸型/角型引掛シーリングがついている場合
取付板Ａを付属の木ネジ（２本）で、補強材のある位置に確実に取り付けてください。

⚠ **警告** **取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となることがあります。**

- 天井に埋込/フル引掛ローゼットがついている場合
取付板Ａを引掛ローゼットの金具に、付属の取付ネジ（２本）で確実に取り付けてください。

4
取付板Ｂを取付板Ａにローレットナット（２個）で確実に固定してください。

5
ワイヤー調節具を使い、器具の高さを調節してください。（図３・４参照）
ワイヤーをカットした際は、ワイヤーの端末にワイヤーストッパーを必ず取り付けて、落下防止対策をしてください。

取 付 順 序

図 5

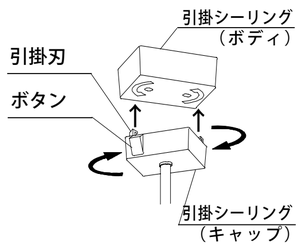
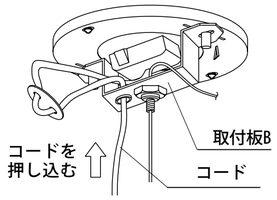
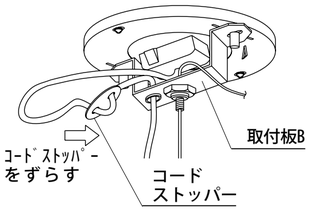


図 6

●取付板Ｂにコードを押し込みコードストッパーを取付板Ｂ側にずらす。



●あまったコードはフランジ内へ収納します。



6
引掛シーリングキャップを引掛シーリングまたは、引掛ローゼットに取り付けてください。

●引掛シーリング（キャップ）の2本の引掛刃を引掛シーリングまたは、引掛ローゼットに挿入し、カチッと音がするまで右にまわしてください。（図５参照）

引掛シーリング（キャップ）のはずしかた

ボタンを押し、そのまま左方向へまわしてください。

7
コードストッパーの位置を調節してください。（図６参照）
コードストッパーはコードが少したるむように取り付けてください。
※あまったコード及びワイヤーが長すぎてフランジ内に収まらない場合は、コードを切断する必要が生じますので、電気工事店ご依頼ください。

8
フランジを押し上げ、天井に密着させ、フランジ取付ナットで固定してください。

9
ネジ部にキャップを確実にしめつけてください。

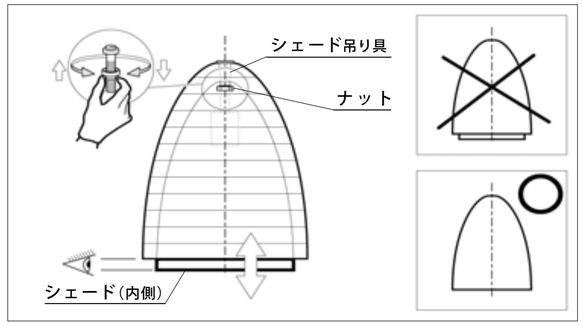
10
ゴムリング（3個）を均等に配置して、ワイヤーとコードをしっかり止めてください。

11
２つのシェードの下面を揃えてください。

- この作業は同梱の手袋をつけて行ってください。指紋等による汚れがつきます。

⚠ **注意** **シェードの調整は点灯中または、消灯後30分以内に行なわないでください。**
やけどのおそれがあります。

- シェード吊り具のナットをまわして内側のシェードの高さを調整してください。



12
もし、シェードが傾いていましたら修正してください。

●この作業も同梱の手袋をつけ、消灯後３０分以内には行わないでください。

① 内側のシェードをまわして修正してください。